

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プレイジム		
○保護者評価実施期間	2024年12月11日		～ 2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	2024年10月8日		～ 2024年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月3日		～ 2024年12月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	57人	(回答者数) 35人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【対象児の特性理解と適切な助言】 ・事業所は対象児の特性をしっかりと理解し、適切な助言や支援を実施していると保護者、支援先施設より評価されています。	・日々の支援会議で丁寧な事例検討を重ねること、そのプロセスにおいて柔軟に知識を活用することの重要性を職員間で共有しています。	・特性に理解に役立つ知識を蓄積していくための情報シートの作成、AI等を活用した広範囲な情報の収集、文献抄読などを日々の業務として根付かせていくための取り組みを行います。
2	【具体的な支援策と実践しやすいアドバイス】 ・事業所は具体的な支援策を提示し、それを実践しやすい形で提供しています。例えば、「運動面や発達段階に応じた具体的な支援策を提示」といった声があります。これにより、利用者が実際に取り組みやすく、効果的なサポートを受けることができます。	・通所支援での実践経験を踏まえ、発達段階のアセスメントをもとに具体的な活動・遊びなどを提示することができています。	・助言した活動・遊びが、訪問施設でどの程度の頻度で実施されているのか、またその経過・効果については十分検討できていません。今後、訪問支援の効果を把握していくためにも、訪問施設での取り組み状況を客観的に捉え、より効果的な助言ができるよう取り組んでいきます。
3	【丁寧な対応と問題解決】 ・事業所のスタッフは丁寧な対応を心掛けて問題を解決することが評価されています。「質問に対して丁寧に答えてくれる」「困り感を共有して対応できる」といった意見があり、利用者へ寄り添ったサポートが整ってきたと思われる。	・支援児に対する共感性を優先しながら、保護者や訪問先職員の思いを受け止めることを重視した支援を実施しています。訪問先職員との連携を深めるために、一緒に「サポート共有シート」を作成するなどの取り組みも行っています。	・丁寧な対応のために時間を確保するだけでなく、短時間であっても相互のやりとりを密に行うこと、お互いの考えがちくはぐになることなく共有されることが重要と考えられます。そのような実践のための情報共有ツールを作成し、日々支援に取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【環境に配慮した支援】 ・支援児への対応が他の児童に影響を与えることについての意見が見られました。支援がクラス全体に及ぼす影響に配慮した取り組みが必要と思われます。	・利用児に対する個別最適な活動を中心に検討するため、環境への配慮が十分でない可能性があります。他児にとつての個別最適な活動にも配慮しつつインクルーシブな環境を構築していくための視点をさらに強化する必要があります。	・他児への影響に配慮しながら利用児に対する教材やアクティビティを慎重に選定する取り組みが必要と思われます。一方で、他児にも利用児に対する理解を深める支援を訪問施設の職員と連携して行うことで、利用児への全体的な協力体制を築くことを目指す取り組みを行っています。
2	【事業所としての苦手な領域がある】 ・一部の利用者からは、具体的な支援や助言が不足している、問題解決には時間がかかると感じられることがあります。この内容は利点としても挙げたものですので、事業所としての苦手な領域があり具体的なアドバイスができていないと思われます。	・事業所として、支援の領域によっては経験が乏しく具体的な助言ができていない可能性があります。また発達の支援に比べ、現場の困り感が強く早急に解決すべき課題について適切に対応できていない可能性があります。	・訪問支援には、多様な領域からの介入が必要です。それぞれの訪問支援員の得意不得意の領域を自己評価しつつ、どの領域にも一定の支援力を磨き保つことができる研修計画を立案します。また各自の得意領域を生かすことができるような訪問支援を実施していきます。
3	【アセスメントカルの低さ】 ・保護者アンケートでは、そのような記述はありませんが、事業者用自己評価では、「アセスメントが十分できていない」との記述が散見されます。	・フォーマルなアセスメントツールは多用していますが、その解釈を総合的に捉えることやインフォーマルなアセスメント(行動観察)を十分に行えていないことがあります。	・個別支援会議において、アセスメントツールの解釈をさらに深めることができる工夫が必要と思われます。また行動観察については、複数のアセスメント者による結果の比較ができるような機会を設定することが必要と思われます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	ブレイジム				公表日	2025年 3月 9日			
				利用児童数	57人		回収数	15	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	0	0	7		・必要な教具教材は整えられていますが、日々、迅速に使用することや効果の検証はまだ不十分です。		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	12	1	0	2	・個室ではありませんしプライバシーに配慮されているかどうかはわかりませんが、別に隣に声が聞こえても気になりません。	・個室以外の場所で面談を行うこともあり、ご迷惑をおかけしました。今後は、個室での面談を心がけるようにいたします。		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	14	0	0	1	・必要に応じて説明して下さり、わかりやすいです。			
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13	2	0	0	・たまに前もって連絡がなく訪問支援に行ってくださいという時がありますが、後でメールで報告がありますし、息子が帰ってきてから聞けば話してくれるので困ったことはありません。	・訪問日程は事前に連絡させていただくことになっています。改めて業務手順を全職員で周知するようにいたします。		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	15	0	0	0				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0	・新しい事を導入し始めて、そんなに日が経っていないので現時点では効果がわかりませんが、子供に合ってると思う効果が見られたら良いと思います。	・専門的に支援に対する効果を本人、保護者に感じて頂けるよう引き続き支援させていただきます。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	12	0	0	3	・園の先生の意向が盛り込まれているかはわかりませんが、家庭での困りごととも相談させていただいているので、親の意向はとでも反映された支援計画書になっていると思います。	・個別支援計画作成の際には、必ず園の先生方と事前に協議させていただいています。		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	1				
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0				
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1				
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	1	0	・ペアレントトレーニング受けたいです。 ・また保護者が参加出来るプログラムや研修会に参加したいです。	・今年度は、十分な保護者プログラムが提供できていませんでしたが、次年度以降も、引き続き工夫しながら保護者プログラムを提供していきます。		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	14	1	0	0				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	0	0				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0				
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	0	・自然学校の参加日数などの学校での話合いに、担当の訪問支援員の方にも参加していただき、助言等していただきました。	・こども園、学校での話し合いなどにも積極的に参加し、相談援助を行わせていただきます。			

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13	0	0	2		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14	0	0	1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	9	0	0	6		・緊急時の訪問先施設との連携について、整理した文章等を今後、配布させていただきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	2		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	14	1	0	0	・特に子どもへ説明していないので、何の先生かは理解していないかもしれませんが、先生が来ることは喜んでます。 ・クラスに訪問されるのは嫌だったと言っています。 ・訪問支援に来てくださる職員を見ると喜んでるそうです。	・利用児の希望に合わせて訪問支援員の関わり方を工夫しています。自分のために訪問支援が来ていることを周囲に知られたくないなど、本人からの希望があれば訪問支援員へお伝えください。
	28	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	・訪問より特性を詳しく知るだけでなく、支援方法を計画して頂きとても満足しています。 ・幼稚園での本人の様子や先生の関わり方を知ることができて、今までしらなかった様子が分かるようになって良かったです。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
プレイジム		2025年 3月 9日				
		利用児童数			回収数	
		57人			35	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	33	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ●ポジティブな意見 <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な遊びが取り入れやすくてありがたい。 ・対象児の特性を理解し、適切な助言や指導を行ってくれる。 ・一緒に考えてアドバイスを頂けることが助かる。 ・手指技能の運動がわかりやすく取り組みやすい。 ・毎回の報告書で状態を確認できる。 ・実践しやすい助言をしてくれる。 ・集団生活での支援の仕方を提案してくれる。 ・発達に合った取り組みを教えてくれる。 ・普段気づきにくい困りごとを教えてくれる。 ●改善が必要な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・他の児童の行動についての指摘が受け入れにくい。 ・学級全体の保育の流れを考えた助言がほしい。 ・本人にとって難しいことがあるので、取り入れにくい。 ・子どもができることを見極めて助言してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に見て、支援に対するポジティブな意見が多く、簡単な遊びや手指技能の運動などが取り入れやすく評価されています。また、対象児の特性を理解し、適切な助言や報告書による状態の確認が役立っています。しかし、一部では他の児童の行動についての指摘が受け入れにくかったり、学級全体の保育の流れを考えた助言が求められる点が指摘されています。今後は、支援の具体化や全体の保育の流れを考慮した助言が必要と考えています。 	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	33	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ●ポジティブな意見 <ul style="list-style-type: none"> ・その子にあった対応をわかりやすく教えてくれる。 ・運動面や発達段階に応じた具体的な支援策を提示。 ・特性を理解し、遊びや関わり方を工夫してくれる。 ・発語の正しい伝え方をわかりやすく教えてくれる。 ●改善が必要な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・教材の使用で他の児童が興味を持ち、集中できない様子。 ・具体的な指導と助言の具体化を希望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に見て、支援に対するポジティブな意見が多く、特性に応じた対応や運動面・発達段階に基づく支援策が評価されています。特に、発語の正しい伝え方についての指導が役立っています。しかし、教材の使用に関して他の児童への影響や具体的な指導・助言の具体化が求められており、利用児以外の子どもへの影響を考慮した助言や具体的なアイデアを提供できるスキルの高めることを必要と考えています。 	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	32	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ●ポジティブな意見 <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく教えてもらえることに感謝。 ・支援策の意見を多面から取り入れ、適切な回答を提供している。 ・専門的な知識と経験によるアドバイスが役立つ。 ・困り感を共有して迅速に対応できる。 ・絵カードの提案が有効で、経過も気にかけてもらえる。 ・質問に対して丁寧に答えてくれる。 ●改善が必要な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する適切な回答が得られず、担当者が困ることがある。 ・保育中でじっくり質問ができない状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に対するポジティブな意見が多く、わかりやすい説明や多方面からの意見を取り入れる姿勢が評価されています。専門的な知識と経験によるアドバイスが役立ち、絵カードの提案も有効でした。ただし、一部で質問に対する適切な回答が得られないことや保育中に質問がしにくい状況が指摘されており、訪問支援員が適切に回答していくための研修、訪問先スタッフと意見交換をするための時間の確保について協議などが必要と思われます。 	

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	30	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ●ポジティブな意見 <ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ変化が見られる。 ・新たな方法を提案して成功事例が多く、前進している。 ・助言により、見通しを持って支援に当たれる。 ・PECS利用で適切な関わりができ、課題が見つかってよかった。 ・成長と一緒に伝え合うことができた。 ・カードを使った生活で、保育者も落ち着いて過ごせるようになった。 ・相談に応じて困りごとが解消している。 ●改善が必要な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちの面での困りごとの解消に時間がかかりそう。 ・園の職員での相談後も、解消や軽減されずに困りごとが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に見て、支援方法に対するポジティブな意見が多く、新たな方法の提案やPECSの利用、相談体制の整備などが評価されています。ただし、支援の効果が完全には見られない点や、職員間の連携が課題となっている点も明らかになりました。助言した内容の効果を継続的にフォローする支援システムの構築や訪問先施設の担当者のみならず他の職員を含めた情報交換の場の設定を行う必要があると考えています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	33	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ●ポジティブな意見 <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な対応により、心強く信頼している。 ・手指技能や運動面での指導に感謝。 ・行事前のサポートが役立っている。 ・子どもとの成長を共に見守ることが心強い。 ●改善が必要な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・支援児への具体的な関わり方についての要望。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に見て、支援に対する満足度は非常に高く、丁寧な対応や指導が信頼と安心感を与えています。特に、行事前のサポートや日々の悩みごとの相談体制が高く評価されています。悩みごとを聞いてもらえることや支援の詳細な説明が求められる点など、支援児への具体的な関わり方についての要望もあり、より具体的な支援、やってみせる支援の充実を目指します。
<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>					<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ●ポジティブな意見 <ul style="list-style-type: none"> ・運動面でのアドバイスが成長につながっている。 ・丁寧な対応で学びが多い。 ・困りごとや対応の仕方を迅速に教えてくれる。 ・専門的な見地からのアドバイスで前進できる。 ・支援員が子どもの成長を共に見守り、保護者支援も行っている。 ●改善が必要な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・グッズの使用が混乱を引き起こすことがある。 ・支援員が支援児の状態を理解していないと感じる。 ・具体的な支援の見本が求められる。 ・職員の士気が低下している。 					<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に見て、支援に対するポジティブな意見が多く、運動面でのアドバイスや専門的な見地からの支援が評価されています。保護者支援や丁寧な対応も信頼を得ています。しかし、一部ではグッズ使用による混乱や支援員の理解不足が指摘されており、具体的な支援の見本が求められています。これらの改善点を踏まえ、支援内容が施設全体に及ぼす影響を踏まえた助言や具体的な指導技術が提供できる訪問支援スタッフのスキル向上のための取り組みを事業所で実施していきます。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		プレイジム		公表日		2025年 3月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	1	・支援にあった教材を作成している。必要なグッズを提案することや貸し出すこともある。	・本人にとって適切なものとなるよう工夫しているが、十分でないこともある。 ・準備が間に合わないこともあるため、タイムリーに準備をすすめるよう改善したい。 ・必要な教具教材を使用しているが、使用に対する効果の検証は不十分である。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		・現在、利用ニーズを充足できる職員数を配置しているが、職員によって担当数の偏りが生じている点は、検討が必要。 ・全体の数は適切ではあると思うが、専門領域に分けると不十分な領域もあると感じる。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2	・広く職員が参画しているとは言えないが、必要に応じて、職員間で方針の相談や振り返りをしている。 ・職員の参画はあるが、主体的な関与は低い。	・会議にて自身の業務の進捗を報告する機会はあるが、プランの再検討が不十分になっている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・評価表の自由記載部分を参考にしている。 ・保護者向け評価表で頂いた意見の中で、訪問支援員とのコミュニケーションが少なくという点については、改善するべくできるだけこまめに連絡を取るようになっている。 ・今年度、保護者支援を強化するなどの取り組みを行った。	・訪問支援員と保護者のコミュニケーションを増やすための取り組みが引き続き必要である	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・日々のミーティングで、業務の問題点を挙げ、その解決のための具体的方策を検討している。 ・ミーティングや個別に職員同士で意見交換を行っている。 ・会議で職員の意見を募っている。	・うまく進んでいないと感じる支援に対する相談が十分にできていないこともあり、今後の課題である。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・第三者による外部評価は受けていないが、訪問先施設からの意見をいただき業務改善につなげるようになっている。 ・第三者評価ではないが監査指導課による実地指導の結果を、職員に伝えられ、対応が必要なことは指示がある。	・今後、機会があれば第三者による外部評価を受けたいと考えている。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・職員が希望する研修には、原則として参加できる。 ・事業所として、それぞれの職員がどのような研修を積み上げていくべきかは、十分に検討できていない。 ・外部施設への研修などの紹介がある。	・引き続き、積極的に研修の機会を提供していく予定である。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	アセスメントに関しては、適切なものとなるよう努めているが、十分とは言えない。 ・アセスメントが不十分な点を児発官や他スタッフより指摘をもらうことで、対応するようにしている。 ・専門性に基づくアセスメントのさらなる質的向上が今後の課題である。	・職員の専門性向上プログラムの重点項目としてアセスメント力向上を設定する予定である。	
9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・支援計画を作成する際には支援にかかわる職員も作成に加わっている。 ・会議の場だけでなく、合間の時間にも相談しながら行っている。 ・個別支援計画の更新にあたっては、原則として児童発達支援管理責任者が訪問先現場にて担当訪問支援員と子どものアセスメントを実施し、子どもの最善の利益を考慮した検討を実施している。	・現在の進め方を継続していく。		

10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前には訪問先施設や保護者と会議を行い意見を聞き、計画に盛り込むとともに、原案を作成・説明し、それについて訪問先施設から意見をもらい修正などを行っている。 ・訪問支援以外の時間に何うことで、訪問先の先生と話をする時間を確保しやすくなっている。 ・今年度より、原案の検討会議を訪問先施設担当者と実施している。 	・今年度より実施している訪問先施設での原案検討会議をより充実してものにしていくため方法を検討している。
11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議で支援計画について職員間での共有がされているが、計画に沿った支援が支援員の力量不足などから十分に行えないこともある。 ・複数スタッフで担当になる際には、直接訪問時の報告を行い、随時相談しながら進めている。 	・日々の支援内容を相互に堪忍しながら実施していく必要がある。
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマルなアセスメントを実施しているが、インフォーマルなアセスメントが曖昧になりやすく、行動観察での視点や分析がまだ十分ではない。 	・インフォーマルなアセスメントについては、職員の力量によるところが大きいいためさらなる研修が必要である。
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も参考にしているが、支援内容は様々であり、現場に即した支援内容を設定している。 	・ガイドラインの内容に留まることなく、さらに必要な支援を考えていく姿勢で臨みたい。
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議で支援計画について職員間での共有がされているが、計画に沿った支援が支援員の力量不足などから十分に行えないこともある。 ・複数の支援員で支援にあたる場合計画の共有はできているが、それぞれの実施内容を十分に共有できていないこともある。 	・日々の支援内容を相互に堪忍しながら実施していく必要がある。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・複数で担当している場合は、支援前に打ち合わせを行うこともあるが、毎回ではない。複数の支援員で入る場合には行っている。 ・訪問支援は、担当職員のみで実施されることがほとんどで、日々、その他の職員と支援内容の共有はなされていない。 	・担当職員のみで訪問支援を実施する場合においても、他職員を含めた意見交換の機会を増やす必要がある。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・報告漏れがないように、記録に残すようにしている。 ・訪問支援は、担当職員のみで実施されることがほとんどで、毎回、支援の振り返りを職員間で行うことはないが、必要に応じて共有している。 	・担当職員のみで訪問支援を実施する場合においても、他職員を含めた意見交換の機会を増やす必要がある。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の理念などを尊重するよう心掛けているが、訪問先が十分尊重してもらっていないと感じていることもあるかもしれない。 ・先生との話し合いで、思いを聞くようにしている。 	・訪問支援事業所として原則としてそのように実施していきたいと考えている、こどもの最善の利益との関係で、かならずしもそのような対応にならないこともある。このような場合の支援方法は今後の課題である。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を取り、支援の検証や改善につなげるようにしているが、十分でないこともある。 ・共有シートを作成するなど、検証したことを園とも共有するような仕組みがある。 ・まとめきれないことも多い。 	・支援の検証・改善については、まだ課題がある。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先で保護者の方と話をする機会を設けるようにしている。 ・定期的に児童発達管理責任者による訪問先施設でのモニタリングを実施し、支援の効果などを訪問先スタッフ、支援担当者との意見交換している。 	・現在の進め方を継続していく。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達管理責任者もしくは療育担当者が出席しているが、会議が通所の時間帯になると調整が難しい。 	・引き続き、出来る限り会議へ出席する方針で取組む。
21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサや児童発達支援などと必要に応じて連携していくようにしているが、頻度は多くない。 ・保育、教育等の関係機関と連携はできているが、地域の保健、障害福祉機関との連携は十分でない。 	・次年度は、保育、教育等の関係機関と連携をまず強化していきたい。

関係機関や保護者との連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎの会議に同席をしたり、必要に応じて、就学先の教育機関へ申し送り書にて情報共有を行っている。 ・担当者会議等で情報を共有する機会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進め方を継続していく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修には参加しているが、専門家や専門機関等からの助言を受けることはあまりない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、必要が生じれば職員以外の専門家や専門機関等からの助言を受ける機会を設ける予定である。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は事業者部会委員として活動しているが、直接支援の職員は業務の関係でなかなか参加できる機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接支援の職員も参加しやすい自立支援協議会のミーティングなどを、主体的に設定していく必要がある。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡表などで訪問時の情報を共有するとともに、アセスメント結果や対応方法なども保護者へ説明している。 ・訪問時に保護者と情報共有をはかることを心がけている。 ・日々、メールにて情報共有を行っているが、必要に応じて、電話でのやりとりもしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進め方を継続していく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラムを実施したり、講習会への無料参加や保護者懇談会で情報発信などを行っている。 ・月末の押印時やメールにて案内を発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインなどを活用し実施しているが、必要な家族に必要な支援が届いていない可能性があり、提供の仕方に工夫が必要と思われる。
	保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者より契約時や変更時に説明を行っている。
28		訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援開始前に会議を開催し、その場で説明している。趣旨を示したリーフレットや支援計画を持参し、児童発達支援管理責任者が説明を行っている。 ・支援計画をもとに、具体的に訪問支援の目的を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進め方を継続していく。
29		保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援計画を作成する前に、面談等を行っている。 ・こどもの意向を確認することが不足していることあるため、保護者だけでなく対象児にも確認するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意思を尊重するとともに、保護者に対して、こどもの最善の利益の観点を伝えていくことが重要であると考え、その取り組みを引き続き行っていく予定である。
30		「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進め方を継続していく。
31		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時にお会いした際に話をしている。その場で助言ができない時はもちかえり、後日電話で伝えることもある。 ・定期的な面談に加え、保護者からの依頼に応じて相談の機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進め方を継続していく。
32		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は組織していないが、定期的に保護者会を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援事業における保護者交流の在り方については通所とは状況が異なっており検討すべきと考えている。
33		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談に対して迅速に対応できていない場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで申入れなどはほとんどなかったが、今後、そのようなことがあれば、適切に周知しながら改善していきたい。
34		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期ではあるが、通信等をメールで発信したり、必要な情報を保護者へメールで配信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メールでの通信配信の頻度を高めていけるようにしたい。
35		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務終了時に、持ち帰るものの確認を心がけている。 ・個人情報の取扱いに問題が生じた場合、個人情報管理委員会にて適切に処理している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進め方を継続していく。
36		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて視覚的な情報伝達などの配慮を実施している。 ・文書もしくは口頭でなど、伝わりやすい方法を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進め方を継続していく。
37		訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問日でなくても、電話等で相談に応じることができると伝えている。 ・必要に応じて相談に応じるとともに、訪問先施設の職員研修なども実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進め方を継続していく。

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	2	・訪問先施設職員の時間がとれる範囲で、訪問後、簡単なカンファレンスを実施することがある。	・担当教員との情報交換はしているが、複数人で話し合いをするための時間の確保は難しいことが多く、時間設定が課題である。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	・毎回、メールにて支援内容の共有を行っており、必要に応じて、電話で伝えることもある。	・現在の進め方を継続していく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報セルフチェックシートを用いて常に意識するようにしている。 ・個人情報の入っている持ち物は離さないようにしている。 ・個人情報の取扱いに問題が生じた場合、個人情報管理委員会にて適切に処理している。	・現在の進め方を継続していく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	2	・専門的な助言を十分に行えないこともあるため、そのようなときは事業所に持ち帰り相談するなどして対応している。 ・信頼関係を築くことは簡単なことではないが、支援内容の明確化と協業によって築いていきたいと考えている。	・現在の進め方を継続していく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3	・事業所内では実施されているが、訪問支援に特化したものは行っていない。 ・感染症対応訓練などを実施している	・訪問支援に特化した各種マニュアルの作成が課題である。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2	・定期的な点検を実施している。	・現在の進め方を継続していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	・ヒヤリハットの件数が少なく、潜在的なヒヤリハットが多い可能性もある。	・現在の進め方を継続していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・定期的な研修、セルフチェックなどを実施している。	・現在の進め方を継続していく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保育所等訪問支援計画に記載しているか。	4	1	・身体拘束が必要な場合、委員会での検討を行い、その内容を踏まえ計画に記載することになっているが、訪問支援にて身体拘束が必要となったことはこれまではない。	・現在の進め方を継続していく。